

令和3年7月21日

保護者 各位

宮城教育大学附属小学校  
校長 西城 潔

## 夏季休業に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底について（お知らせ）

猛暑の候、皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、明日から夏休みを迎える中、文部科学省より「夏季休業に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底について」の通知がありました。

つきましては、留意していただきたい事項を下記にまとめましたので、夏季休業中も御家庭での感染症対策を徹底していただきますよう御理解と御協力の程よろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 感染症対策の徹底について（文部科学省通知文より）

令和3年5月の児童生徒等の感染経路を見ると、小学生の80%、中学生の63%、幼児の72%が「家庭内感染」であり、最も高い割合となっていた。一方、高校生は「感染経路不明」が39%で最も割合が高く、「家庭内感染」は32%であった。このように、依然として多くの学校種で「家庭内感染」の割合が高くなっていることを踏まえ、夏季休業中も、以下の点に留意しながら日常生活を送るよう児童生徒等に指導すること。

##### (1) 感染症の予防

- ・感染症を予防するには、身体全体の抵抗力を高めるため、適度な運動、バランスの取れた食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが有効であること
- ・咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底するとともに、3つの密（密閉、密集、密接）を避ける等の予防策の徹底が必要であること。
- ・発熱等の風邪症状がある場合には外出を控え、自宅で休養するようにすること。
- ・食事の前後の手洗いを徹底するとともに、外での会食に当たっては、飛沫を飛ばさないよう大声での会話を控える、会食後の歓談時にはマスクを着用するなどの対応が必要であること。

##### (2) 正確な情報に基づく行動

- ・誤った情報や不確かな情報に惑わされることなく、正確な情報や科学的根拠に基づいた行動を行うようにすること。

##### (3) 差別や偏見の防止

- ・感染者、濃厚接触者等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別を行わないこと。感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、地域での感染拡大につながり得ること。
- ・予防接種は最終的には個人の判断で接種されるものであることから、予防接種に当たっては、リスクとベネフィットを総合的に勘案し、生徒及び保護者の意思で接種の判断を行うことが大切であること。加えて、身体的な理由や様々な理由によってワクチンを接種することができない人や接種を望まない人もいること。また、その判断は尊重されるべきであること。

##### (4) 高齢者や基礎疾患のある方に接するときの注意

- ・新型コロナウイルスに感染しても症状が出ない場合があり、自分が知らないうちに感染を広めることもあることから、重症化するリスクが高い高齢者や基礎疾患がある方に接するときは注意が必要であること。

#### 【問い合わせ】

宮城教育大学附属小学校  
教頭 佐藤 俊宏  
022-234-0318  
090-2602-0031